

平成30年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日	平成31年 3月 29日
研究・研修課題名	患者満足度向上と医師・看護職員負担軽減を目指した臨床検査技師による検査説明
研究・研修組織名(所属)	検査部
研究・研修責任者名(所属)	三島清司(検査部)
共同研究・研修実施者名(所属)	長井 篤, 吉富裕之, 野津吉友, 森山英彦(検査部)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果(該当なし)
該当者名(所属)	
学会名(会期・場所・認定名等)	
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

目的及び方法、成果の内容

① 目的

外来の限られた診療時間では臨床検査に関する疑問があっても患者は医師に対しては質問がし難い、また医師も十分に説明できない状況にある。臨床検査技師が患者に臨床検査について説明することにより患者さんの満足度向上と、医師や看護職員の負担軽減を図ることを目的とする。

② 方法

本院外来受診患者を対象に患者本人の希望または担当医から依頼があった患者に対し、臨床検査技師が検査の手順と方法、前処置、検査の意義・目的あるいは内容、検査結果がわかるまでの所要時間、検査数値あるいは検査所見の見方などを説明する。但し、個々の患者の診断や治療等に関する説明は行わない。開始にあたり手順書を作成、説明に使用する書籍を購入準備した(図1)。

説明を受けた患者および検査説明を依頼した医師に対しアンケート調査を実施し、満足度と負担軽減に対する効果について調査する。

③ 成果

2018年10月1日より開始した。これまでの依頼件数は2件であり、満足度や医師・看護師の負担軽減効果を検証するには至らなかったが、アンケート回答結果(表1)からは説明を受けた患者の満足度は高いと考えられる。今後は説明を希望する患者を増やすために、患者だけでなく、医師や看護師等の医療職種に対しても積極的な広報を行っていきたい。



図1 検査説明用手順書と書籍

表1 アンケート回答結果

質問項目		回答数
性別		
	男	1
	女	1
年齢		
	0~9歳	

10～19 歳	
20～29 歳	
30～39 歳	
40～49 歳	
50～59 歳	1
60～69 歳	1
70～79 歳	
80 歳以上	

1. 検査説明を希望された理由は何ですか？（複数回答あり）

a) 何を調べる検査か知りたい	1
b) 検査結果に記載されている英語や略語の意味が知りたい	1
c) 検査結果に記載されている「H」や「L」のマークの意味が知りたい	
d) 基準範囲について知りたい	
e) 検査結果の見方について	
f) 採血に関すること	
g) 食事や運動との関連について	
h) その他	

2. 検査説明があることをどこで知りましたか？

a) 採血室のモニター画面	
b) 採血室に置いてある「検査部だより」	1
c) 医師から聞いた	
d) 看護師から聞いた	1
e) その他	

3. 説明内容は理解できましたか？

a) 大変よく理解できた	1
b) 理解できた	
c) 普通	
d) 少し理解できなかった	
e) ほとんど理解できなかった	
f) わからない	

4. 説明した職員の態度はどうでしたか？

a) 非常に良かった	2
b) 良かった	
c) 普通	
d) 少し不満	
e) 大変不満	
f) わからない	

5. 検査説明を聞いた感想はどうですか？

a) 全ての疑問や不安が解消した	2
b) 疑問や不安が解消した	
c) あまり疑問や不安は解消しなかった	
d) ほとんど疑問や不安は解消しなかった	
e) その他	

6. 機会があればまた検査説明を希望されますか？

a) 希望する	2
b) 希望しない	
c) わからない	

7. その他、検査に関してご意見があればお聞かせください。

採血の係の方、どなたも親切に接して下さり感謝しております。そして採血がとても上手だと思っています。以前他の場所で採血を受けた事がありますが、青くなりなかなか消えずびっくりした事があります。